

令和2年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

ワークショップ実施計画書

制作団体名	有限会社 劇団風の子
公演団体名	劇団風の子

内容

・事前に各学校に作品全体わかるDVDとCD、楽譜、ワークショップの内容・目的、準備してもらうもの等を記したものを送ります。

・学校で事前に出演者を決めてもらいます。(人数は相談の上決めます)

・出演児童に作品の概要を説明、歌・振りの練習をします。

・本公演で劇団のキャストと一緒に全児童に披露します。

<予定内容>

①【民族衣装の着付け】お話とお話の間に外国の民族衣装を紹介する場面があります。アフリカの『カンガ』とタイの『チュンガベン』を子どもたちに身に付けてもらい、民族舞踊の体験をしてもらいます。

②【歌】公演の最後に「歩いていたら」という歌があります。その中に「まーるい地球を歩いていたら前からだれかがやってきた。おはようって言ったら、〇〇〇〇だってさ〜」という歌詞が繰り返され、〇〇〇〇にはいろいろな国の挨拶や、動物の鳴き声などを入れていきます。そこを事前に子どもたちにグループやクラスで自由に考えておいていただき、身体表現をまじえて挨拶をし、一緒に歌います。

*コロナウイルスによる感染の懸念がある場合は上記①【民族衣装の着付け】は、カットします。

②【歌】は、元々、客席に座ったままでの参加です。舞台と客席との間隔を広くとり、役者は舞台空間からは出ないようにします。心配であればカットします。

タイムスケジュール(標準) 午後公演も可能です

7:00—9:20—11:00—12:15—13:30—14:30

設営 ワーク&リハーサル 開演 終演 撤去開始 撤去終了

↑ ↑

*児童の参加 *児童の出演

一日の中でワーク・リハーサル、本公演を行います。

派遣者数

4名(キャスト3名+スタッフ1名)

学校における事前指導

- ・事前にお渡しした CD と楽譜を元に歌を覚えておいてください。
- ・いくつかのグループに分かれ(学年やクラス単位で最大 6 組)、好きな国の言葉(挨拶でも、好きなフレーズでも)を調べて歌に合わせて大きな声で言えるように練習しておいてください。
- ・一人ひとつ、簡単に作れる小さな旗を作っておいてください。お好みの国旗の絵を描いてください(国旗の絵をダウンロードできるサイトもご紹介します。)

令和2年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

本公演実施計画書

制作団体名	有限会社 劇団風の子
公演団体名	劇団風の子

<p>演目</p> <p>「風の子パザール」</p> <p>【スタッフ】 原案：羽生田正明、岸功 構成演出：藤井郁夫 振付：吉岡陽子 舞台美術デザイン：有賀二郎 音楽：岸功・菊池大成 衣裳：小峯三奈 制作：浅野井優子</p> <p>【キャスト】 羽生田正明／金田拓／山口舞(予定)</p>

<p>派遣者数</p> <p>キャスト3名+スタッフ1名</p>

<p>タイムスケジュール（標準） 午後公演も可能です</p> <p>7:00—9:20—11:00—12:15—13:30—14:30</p> <p>設営 ワーク&リハーサル 開演 終演 撤去開始 撤去終了</p> <p> ↑ ↑</p> <p> *児童の参加 *児童の出演</p> <p>一日の中でワーク・リハーサル、本公演を行います。</p>

<p>実施校への協力依頼人員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本番中に大人の女性にインドのサリーという民族衣装を着ていただきます。 ・本番中にカメラマン役を一名、大人の方をお願いします。民族衣装を着た先生や児童の皆さんを撮影してください。（カメラの用意をお願いします） <p>*コロナウイルス感染による懸念がある場合はカットします。</p>

演目解説

<みどころ>

この作品は、とある国の街角の市場で繰り広げられる物語です。さまざまな物が売られ、即興詩人や手品師、辻音楽師などがおり、そこでは、いろいろな国の民話が披露されます。私たちはこの企画を通して子どもたちに、世界各国、各民族の生活と風土の香り高いお話や、歌、踊りなどに触れることで、どこの国の人も、どの民族も、自分たちと同じような大切な文化と生活を持っていることを伝えたいと思っています。

<あらすじ>

舞台はとある国のバザール（市場）。3人の売り子たちが、いろいろな国の民話を披露しあう。

- I イタリアの民話から「ギャッコと豆」：少年ギャッコは「豆をたべたねこをたべた犬をたべた豚をたべた馬」を手に入れる。言葉あそびとマイムと笑いのおおらかな作品。
- II ミャンマーの民話から「ヒヨコと大ネコ」：大ネコにつかまったヒヨコは、「たすけておくれよ、おかしをあげるから」と約束をしますが、おかしを一人で全部たべてしまいました。さあたいへん。市場に売られているいろいろなものを使って演じます。
- III ロシアの民話から「ふえふきイワーヌシカ」：イワーヌシカは笛が好き。彼が楽しい曲を吹くと、町じゅうの人が踊りだし、悲しい曲を吹くと誰もが泣かずにはいられません。イワーヌシカの奏でる笛の音が、欲張りな羊飼いの夫婦をこらしめるお話。次から次へ大小たくさんさんの笛が出てきます。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

- ・ワークショップでは、アイスブレイクとして「手遊び」「歌遊び」などをして子どもたちの心と身体を解放できるように進行し、クラスのみならず力を合わせて表現することが楽しみになるようにします。
- ・子どもたちが調べてくれた世界の言葉を、より表現を大きく見せられるように、一緒に遊びながら膨らませて考えます。

*** コロナウイルスによる感染の懸念がある場合は**

舞台と客席との間隔を広めに設定をし、役者は舞台空間からは出ないようにします。

児童生徒とのふれあい

- ・出演者と親近感を持てるよう、終了後の送り出しなど、俳優がおこないます。
- ・時間が許すようならバックステージ・ツアーも可。

<新型コロナウイルスへ感染防止への対処案>

- ・心配であれば、公演を観ていただくのみでも可。
- ・準備中、ワーク、演技中は窓などを開放し、換気に努めます。
- ・舞台と客席との間隔を広く設営します。
- ・児童との接触（終演後の送り出し・握手・ハイタッチなど）を控えます。
- ・会場の体育館以外の場所へは立ち入らないように配慮します。
- ・次亜塩素酸水等を持ち込み、道具等を消毒します。
- ・ワーク、演技中以外はマスクをして作業します。